



レパサー®皮下注 自己注射投与を受けられる方へ

レパサー®皮下注140mgペン 自己投与のための 使い方ハンドブック

【監修】加賀市医療センター 循環器内科 診療部長
川尻 剛照 先生

(ご所属・役職等は2024年11月現在のものです)

目次

はじめに	3
レパーサ®皮下注140mgペンとは？	3
自己注射の3つのポイント	4
自己注射チェックシート	5
保管方法	6
レパーサ140mgペンについて	7
ステップ1: 注射の前に	8
ステップ2: 準備をする	10
ステップ3: 注射する	14
ステップ4: 終了(片付け)	16
よくある質問	18

心筋梗塞・不安定狭心症で入院中の方とそのご家族へ **再発予防ガイド**

心筋梗塞・不安定狭心症で入院された患者さんとそのご家族のための情報サイトです。病気についての解説や日常生活の改善のポイントなど、再発予防のために欠かせない情報をお届けします。



URL : <https://acve-navi.jp/> 再発予防ガイド ACS



はじめに — レパーサ[®]皮下注140mgペンとは? —

レパーサ[®]皮下注140mgペンとは?

レパーサ[®]皮下注140mgペン(以下、レパーサ140mgペン)は、悪玉コレステロールと言われる血液中のLDL-コレステロールを注射で下げるためのおくすりです。

注射の回数、本数は患者さんによって異なりますので、注射は主治医の指示どおりに行ってください。

ご使用になる前に

自己注射とは、患者さんご自身で行う注射のことです。

自己注射をされる方は、必ず医師等から十分な説明と指導を受けてください。

自己注射がうまく行えない場合や、わからないことがある場合は、必ず主治医、看護師または薬剤師に相談してください。

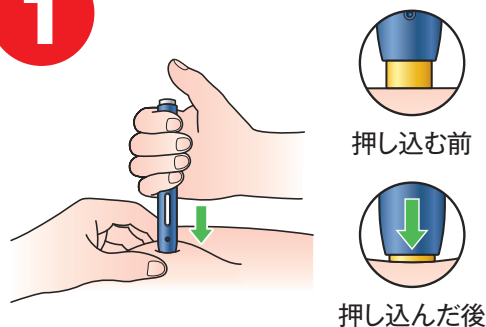


使用前のご注意

- オレンジのキャップにはラテックス由来の天然ゴム製の針カバーが入っています。ラテックスに対してアレルギーのある方は医師等にお知らせください。

— 自己注射の3つのポイント —

1

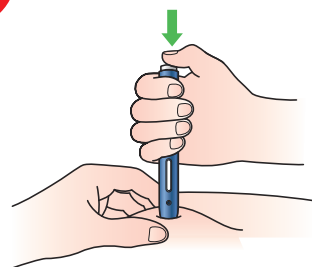


皮膚に押し込む

先端の黄色い部分が見えなくなるまで、しっかりと皮膚に押し込みます。

注射が完了するまで押し込んだままにしてください。

2

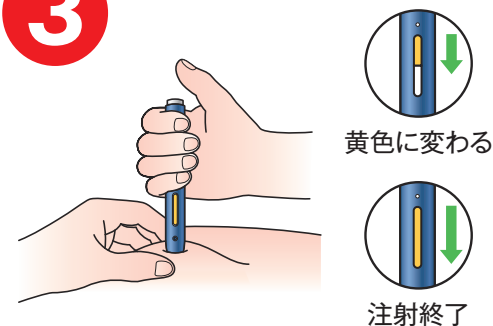


スタートボタンを 押す

灰色のスタートボタンを押すと、「カチッ」という音がします。

注射が始まる(薬液確認窓が黄色に変わり始める)まで押したままにしてください。

3



確認する

注射が始まったら親指を離し、レパーサ140mgペンを押しあてたまま約15秒間待ってください。

薬液確認窓が完全に黄色に変わり、注射が終了したことを確認してください。

詳しくは、14～15ページを参照してください。

— 自己注射チェックシート —

自己注射の手順が理解できているかチェックしてみましょう。

自己注射について

- 体調の変化などに気づいたときには、主治医に連絡する。

注射の保管・準備

- 冷気に直接触れないところ(冷蔵庫のドアポケットなど)に入れ2℃~8℃で保管し、凍結させない。注射の前には、30分以上かけて室温に戻す。
- 手を石鹸でよく洗い、清潔で明るく平らな場所に、注射に必要なものを用意する。

注射部位

- 注射する部位は、腹部か大腿部(太もも)で、腹部の場合、へそのまわり5cm以内は避ける。注射する部位を消毒綿で消毒して、皮膚を乾かし、注射するまで消毒したところには触れない。

注射の仕方

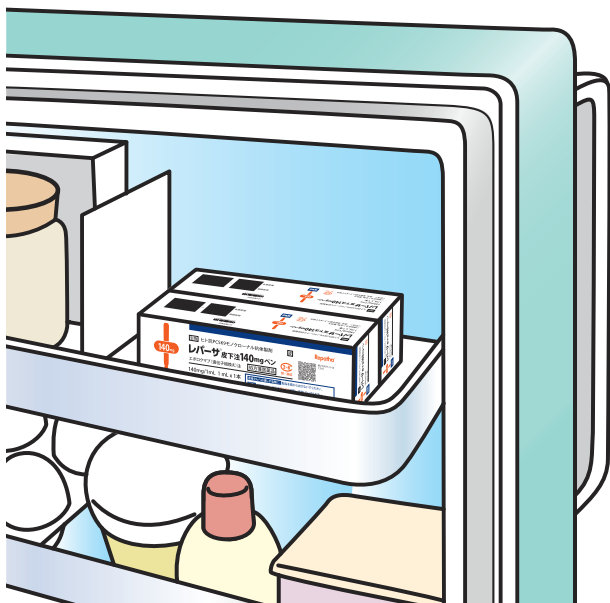
- オレンジのキャップを真っすぐに引き抜いて外す。外したら5分以内に注射する。
- 注射する部位(大腿部、腹部)を引き伸ばすか、またはつまんで、皮膚の表面を硬くする。皮膚を引き伸ばしたまま、またはつまんだまま、注射部位にレパーサ140mgペンを直角にあてる。
- レパーサ140mgペンが動かなくなり、先端の黄色い部分が見えなくなるまでしっかりと皮膚に押し込む。灰色のスタートボタンを押して、「カチッ」という音を確認し、皮膚に押しあてたまま、親指を離して、約15秒間待つ。
- 薬液確認窓が完全に黄色に変わり、注射が終了したことを確認する。

注射後

- 使用済みのレパーサ140mgペン、オレンジのキャップを専用廃棄袋に捨てる。

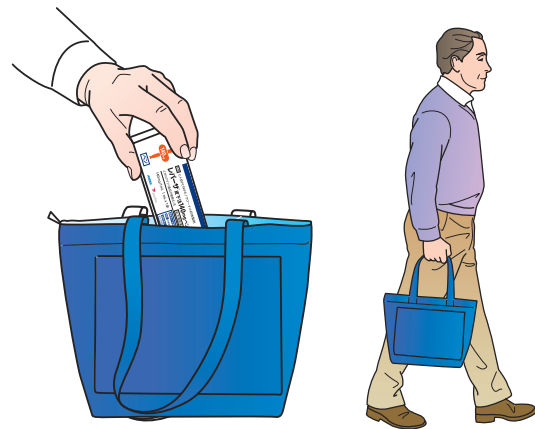
保管方法


冷蔵庫で
箱のまま保管



持ち運びは保冷バッグで

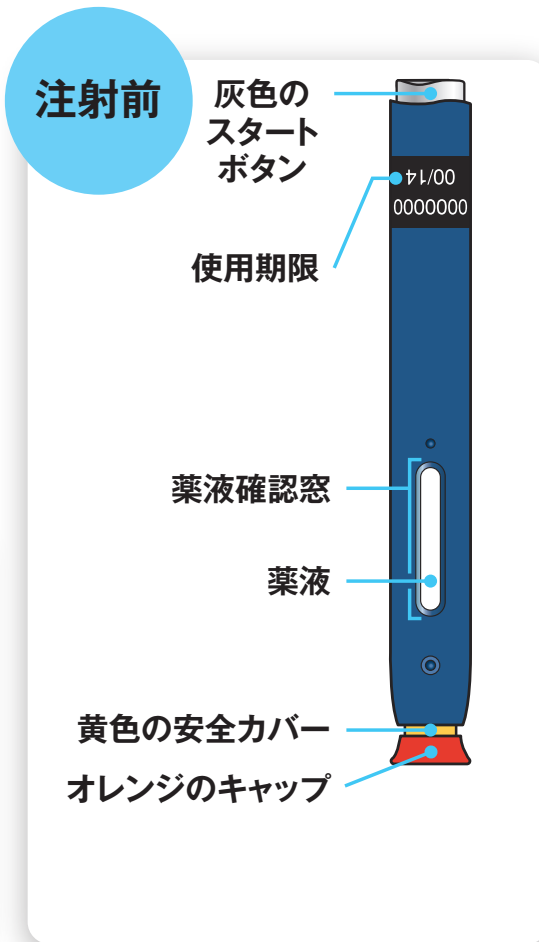
病院や薬局からの帰り道、外出の際に持ち運ぶ場合は、保冷剤を入れた保冷バッグを使いましょう。



- お子様の手の届かないところに保管してください。
- 箱に入れたまま保管し、光や衝撃を受けないようにしてください。
- 冷蔵庫に入れ、2℃～8℃で保管し、凍結させないでください。
冷凍庫など凍結する危険性のあるところは避けてください。
冷気に直接触れないところ(冷蔵庫のドアポケットなど)に保管してください。
凍結した場合は使用しないでください。
- 2℃～8℃で保管できない場合(病院や薬局からの帰り道など)は、温度が極端に高い場所や低い場所で保管しないでください。例えば、車のダッシュボードやトランクでの保管は避けてください。

レパーサ140mgペンについて

- レパーサ140mgペンは1箱に1本入っています。
- レパーサ140mgペンは、ボタンを押すと自動的に注射することができます、1回使いきり・使い捨ての皮下注射器です。

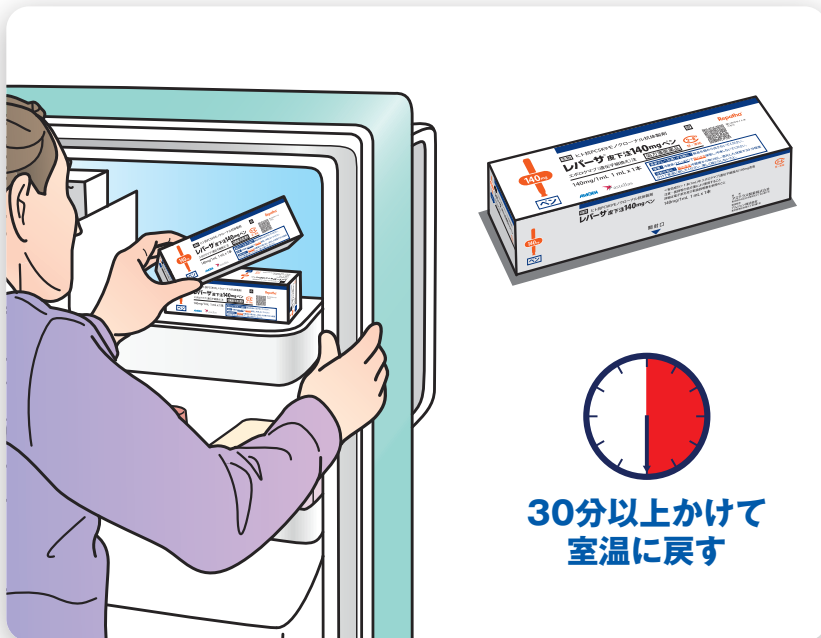


* くぼみやバネ(金属)の一部が見えます。

! 注射針が入っています。

ステップ1：注射の前に

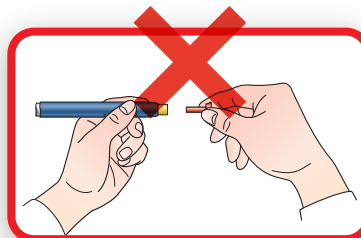
- 1** レパーサ140mgペンの外箱を冷蔵庫から取り出し、室温で30分以上待ちます。



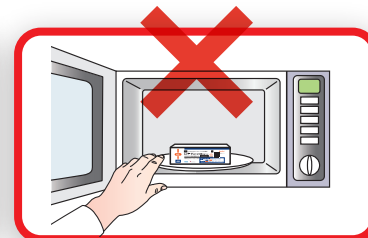
**室温に戻す際は下記について
ご注意ください。**

- ・オレンジのキャップはまだ外さないでください。
- ・レパーサ140mgペンをお湯や電子レンジなどの熱源を使って温めないでください。
- ・直射日光の当たるところに放置しないでください。
- ・レパーサ140mgペンを振らないでください。

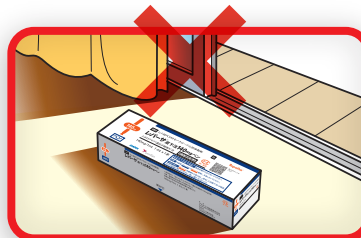
キャップを外さない



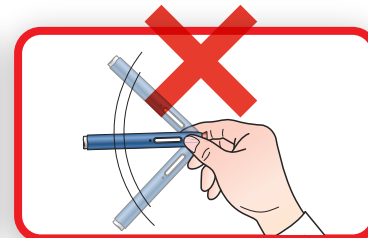
お湯や電子レンジを使わない



直射日光に当てない

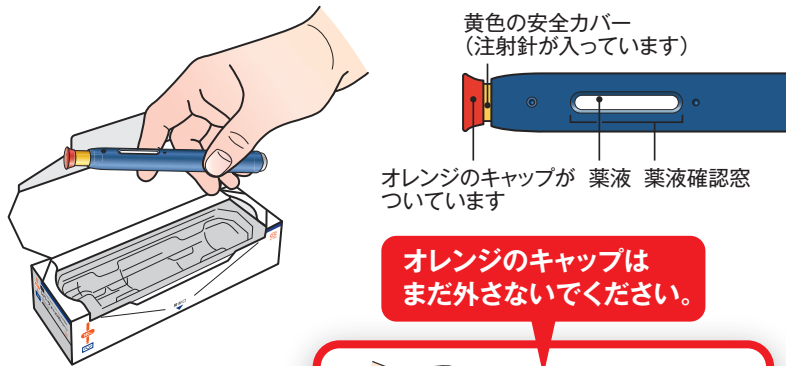


ペンを振らない

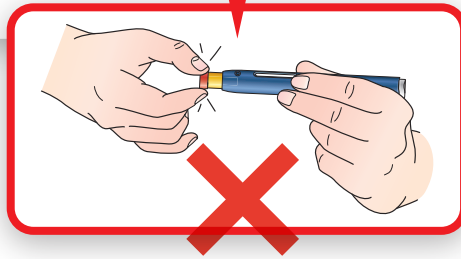


2 箱を開けてレパーサ140mgペンをそっと静かに真っすぐ持ち上げ、薬液確認窓から中身を確認します。

- ペンを扱う際は、清潔な手で行いましょう。
- 薬液確認窓の中の薬液が透明で、無色～わずかに褐色であることを確認してください。
- 使用期限を確認してください。



気泡(空気の泡)が認められることがありますが、注射する上で問題はありません。

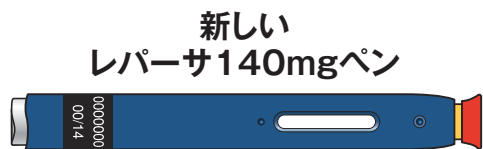


次の場合はレパーサ140mgペンを 使用しないでください。

- 使用期限を過ぎている。
- 凍っている。
- 薬液が濁っている、変色している、あるいは大きな塊や粒子が入っている。
- ひびが入っている、割れているところがある。
- 誤って硬いところにレパーサ140mgペンを落とした。
(ひびなどが見えなくても部分的に破損しているおそれがあります)
- オレンジのキャップがついていないか、しっかりと取りつけられていない。

準備するもの

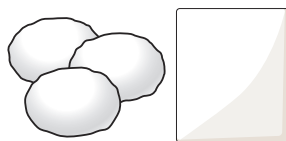
- 3** 手を石鹸で洗ったら、清潔で明るく平らな場所に次のものを置きます。



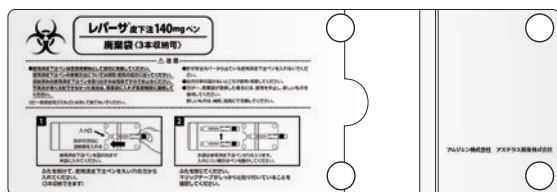
消毒綿



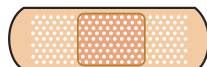
綿球または滅菌ガーゼ



専用廃棄袋



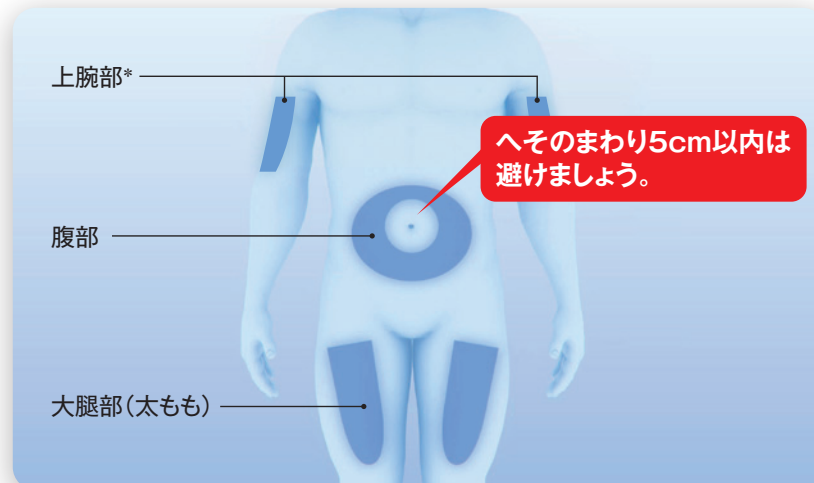
絆創膏(必要に応じて)



など

ステップ2: 準備をする

- 1** 注射する部位を選びます。



次の部位に注射できます。

- 腹部、ただしへそのまわり5cmは避ける。
- 大腿部(太もも)
- 上腕部の外側(この部位に注射できるのは医師等または訓練を受けた家族のみです)

* 医師等または訓練を受けた家族以外は上腕部の外側への投与はできません。

注射部位について

- 皮膚が敏感なところ、挫傷、発赤または硬結している部位に注射しないでください。
- しわ、ひだ、傷跡や妊娠線、ほくろがあるところ、体毛が多いところは避けてください。
- 注射部位に迷ったときなどは、医師、看護師に皮膚の状態をみてもらい、ご相談ください。
- 注射するたびに部位を変えてください。同じ部位に注射しなければならない場合には、前回注射した場所と同じ場所にならないようにしてください。

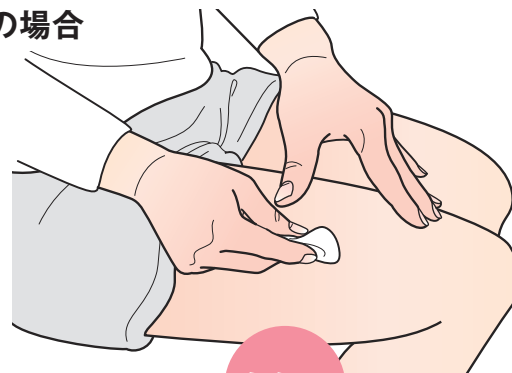
本製品を3本投与する場合

- ステップ1、ステップ2及びステップ3の手順に従って投与します。
- 注射する部位(左右大腿部、腹部、左右上腕部の外側)を順番に変更します。
*上腕部の外側は、患者自身では投与できません。
- 30分以内に連続3回投与します。

2

注射する部位を消毒綿で消毒して、皮膚を乾かします。

大腿部の場合



または

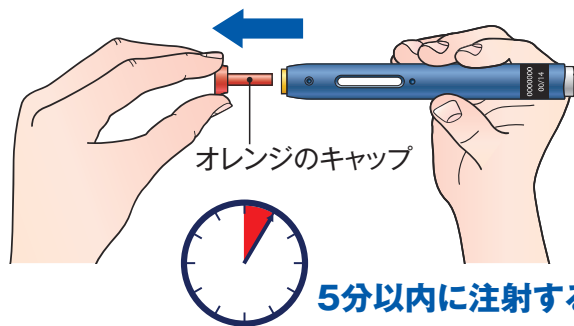
腹部の場合



消毒したところには注射するまで触れないでください。

ステップ2: 準備をする(つづき)

- 3** オレンジのキャップを真っすぐに引き抜いて、外します。



オレンジのキャップを引き抜いた際、注射針や黄色の安全カバーの先端に液滴がついていても問題ありません。

外したら5分以内に注射してください。
針内の薬液が乾き注射できないことがあります。

! **キャップを抜く際は以下の点にご注意ください。**

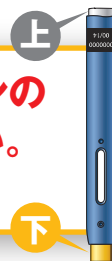
- ・ オレンジのキャップをねじったり、曲げたり、小刻みに揺らしたりしないでください。
- ・ 一度外したキャップは元に戻さないでください。
- ・ 黄色の安全カバーに指を入れないでください。
- ・ 注射の準備ができるまでオレンジのキャップを外さないでください。もし注射ができないときは主治医にご相談ください。

- 4** 注射する部位(大腿部、腹部)を引き伸ばすか、またはつまんで、皮膚の表面を硬くします。



- 5** 皮膚を引き伸ばしたまま、またはつまんだまま、オレンジのキャップを外したレパーサ140mgペンを注射部位に直角にあてます。黄色の安全カバーの中に注射針が入っています。まだ灰色のスタートボタンに触れないでください。

! **指に針を刺さないようにペンの方向を必ず確認してください。(上が灰色、下が黄色)**



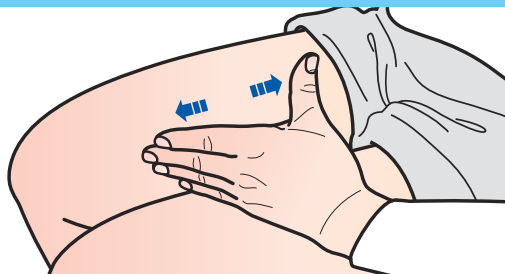
次のページ(13ページ)の例を参照してください。

大腿部の場合

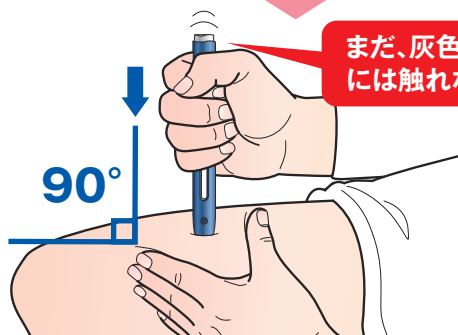
引き伸ばす

親指とほかの指を逆方向に動かして皮膚をしっかり伸ばし、5cmくらいの幅を作ります。

4



5



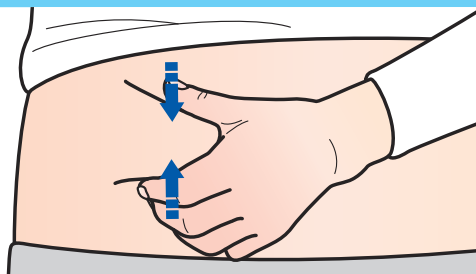
まだ、灰色のスタートボタンには触れないでください。

腹部の場合

つまむ

親指とほかの指で皮膚をしっかり5cm程度つまみます。

4



5



まだ、灰色のスタートボタンには触れないでください。

重要：注射中は皮膚を引き伸ばしたままか、つまんだままにすることが大切です。

ステップ3: 注射する

1 レパーサ140mgペンが動かなくなるまでしっかりと皮膚に押し込みます。

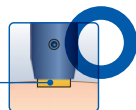
皮膚に押し込む

先端の黄色い部分がペンに押し込まれるよう、しっかりと押しあてる。



黄色の安全カバーを確実に皮膚に押し込んでください。

正しい例
黄色の安全カバー

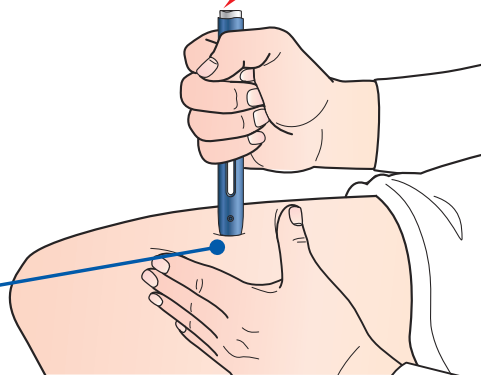


誤った例



指で黄色の安全カバーを押すと、指に針が刺さるおそれがあります。

まだ、灰色のスタートボタンには触れないでください。



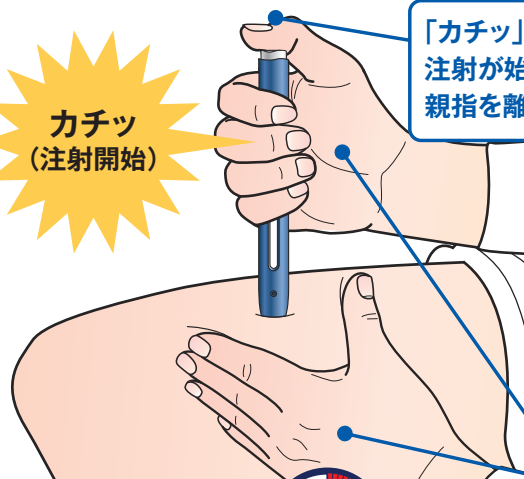
2 注射の準備ができたなら、灰色のスタートボタンを押します。

スタートボタンを押す



カチッ
(注射開始)

「カチッ」と音が聞こえて注射が始まったら、親指を離してください。



約15秒

手は動かさず、ペンを押しあてたまま約15秒間待ってください。

重要: できるだけ下へ押し込みます。

注射の準備ができるまで灰色のスタートボタンには触れないでください。

「カチッ」という音を確認します。皮膚に押しあてたまま、注射が始まる(薬液確認窓が黄色に変わり始める)までそのままにしてください。注射が始まったら親指を離し、ペンを押しあてたまま約15秒間待ってください。

3 薬液確認窓が完全に黄色になり、注射が終了したことを確認してください。 (終了時の「カチッ」という音は聞こえない場合があります)

確認する



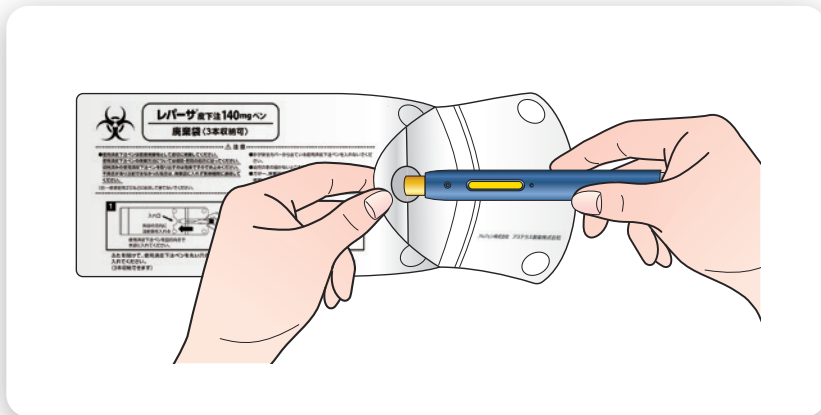
重要: 薬液確認窓の色が黄色にならない場合や、薬液が注入途中と思われる場合は、薬液の全量が注射できていない可能性があります。すぐに主治医にご相談ください。



レパーサ140mgペンを皮膚から離すと、注射針は自動的に黄色い安全カバーで覆われます。

ステップ4: 終了(片付け)

- 1** 使用済みのレパーサ140mgペン、オレンジの針キャップを専用廃棄袋に捨ててください。

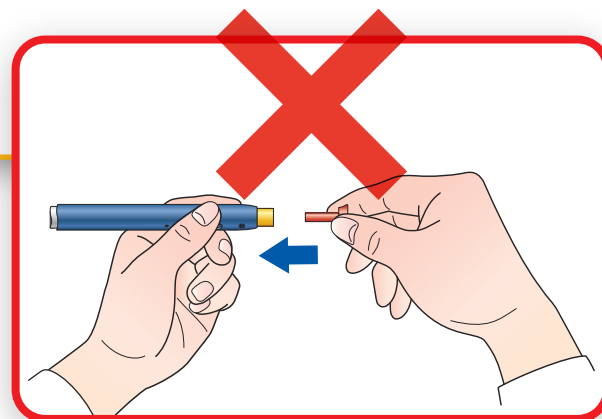


使用済みのレパーサ140mgペンとオレンジのキャップを専用廃棄袋に捨てます。医療廃棄物として適切に廃棄できるよう、正しい廃棄方法については、医療従事者の指示に必ず従ってください。

- ・レパーサ140mgペンを再使用しないでください。
- ・外したキャップをレパーサ140mgペンに戻したり、黄色の安全カバーに指を入れしないでください。
- ・レパーサ140mgペンや専用廃棄袋を再使用したり、家庭ゴミに捨てないでください。

重要: 専用廃棄袋は常にお子様の手の届かないところに保管してください。

! 使用済みのレパーサ140mgペンには、外したキャップを戻さないでください。



2

注射した部位を確認します。出血していたら、注射した部位を綿球
または滅菌ガーゼでおさえて、止血してください。
注射した部位をもんだりこすったりしないでください。
必要に応じて絆創膏を貼ってください。



注射したところは、もんだりこすったり
しないでください。

よくある質問

Q なぜ室温に戻す必要があるのですか？

注射部位の不快感を最小限にするため、また、注射に時間がかかることを避けるために必要になります。

Q 落としてしまった場合はどうしたらよいですか？

硬いところに落とした場合は使用しないでください。ひびなどが見えなくても部分的に破損しているおそれがありますので、新しいレパーサ140mgペンを使用してください。

Q 一度外したキャップを元に戻してはいけない理由を教えてください。

誤って針が刺さるおそれがあるためです。キャップを元に戻すことで、中の針が曲がってしまう可能性があります。

Q 注射する部位を決めるときに皮膚の上でレパーサ140mgペンを動かしてもよいですか？

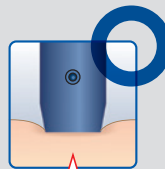
灰色のスタートボタンを押さなければ、注射する部位のまわりでレパーサ140mgペンを動かしても問題ありません。ただし、灰色のスタートボタンを押して、黄色の安全カバーがレパーサ140mgペンに押し込まれたら、注射が始まりますので動かさないでください。

Q 注射部位に押しあてる前に灰色のスタートボタンを押してしまったら、どうしたらよいですか？

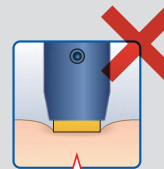
まず、灰色のスタートボタンから指を離します。それからレパーサ140mgペンを注射する部位にあて、ペンが動かなくなるまでしっかりと皮膚に押し込むと、もう一度灰色のスタートボタンを押すことができます。

Q 灰色のスタートボタンが押せない場合は、どうしたらよいですか？

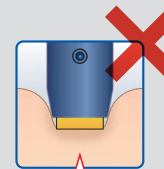
黄色の安全カバーをしっかりと皮膚へ押し込み、再度スタートボタンを押し直してください。



黄色の安全カバーが完全に押し込まれている。



黄色の安全カバーが押し込まれていないため、灰色のスタートボタンが押せない。
→見えなくなるまで押し込む



黄色の安全カバーは見えないが灰色のスタートボタンが押せない。
→皮膚を平らにする

Q 注射を始めた後で灰色のスタートボタンを離さなくても大丈夫ですか？

灰色のスタートボタンを離さなくても問題ありません。ただし、注射中はレパーサ140mgペンをしっかりと皮膚にあてたままにしてください。

Q 親指を離すと灰色のスタートボタンは出てきますか？

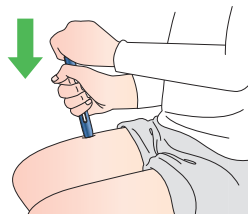
通常、出てきます。
出てこない場合もありますが、問題はありません。

Q 注射時に液漏れしましたが大丈夫ですか？

薬液の全量が注射できていない可能性があります。すぐに主治医にご相談ください。

Q 片手での注射が難しい場合は、どうしたらよいですか？

右図のように、ペンを握っている手と反対の手のひらで、灰色のスタートボタンを押して注射することもできます。



Q 注射終了時(2回目)の「カチッ」という音が聞こえなかった場合はどうしたらよいですか？

注射終了時(2回目)の「カチッ」という音は聞こえないこともあります。薬液確認窓が黄色に変わっていれば、注射が終了しているので問題ありません。薬液確認窓が黄色に変わっていない場合は、主治医にご相談ください。

Q 予定日に注射を忘れてしまいました。どうしたらよいですか？

必ず主治医に連絡し、いつ注射したらよいか指示を受けてください。

Q 1度に3本注射する場合はどうすればよいですか？

- ステップ1、ステップ2及びステップ3の手順に従って投与します。
- 注射する部位(左右大腿部、腹部、左右上腕部の外側)を順番に変更します。
*上腕部の外側は、患者自身では投与できません。
**1回目:左大腿部、2回目:右大腿部、3回目:腹部、など異なる部位へ注射してください。
- 30分以内に連続3回投与します。

Q レパーサ140mgペンや注射について質問がある場合にはどこに問合せればよいですか？

主治医にご相談いただくか、アムジェン メディカルインフォメーションセンターにお問合せください。

お問合せ先(患者さん、ご家族の方向け)
アムジェン メディカルインフォメーションセンター
0120-952-206 受付時間:月曜～金曜日 9:00～17:30
(土日・祝日・会社休日を除く)

また、レパーサ140mgペンの使い方は裏表紙でご紹介するサイトから、イラスト、動画でご確認できます。

レパサ®皮下注140mgペンについてご質問がある場合には
下記にお問合せください。

お問合せ先(患者さん、ご家族の方向け)

アムジェン メディカルインフォメーションセンター

受付時間 / 月～金 9:00～17:30 (土日・祝日・会社休日を除く)

☎ 0120-952-206

レパサ®皮下注140mgペンの使い方は、
以下のサイトからイラスト、動画でご確認できます。



URL : <https://repatha-pts.jp/>

(2024年11月作成)RM-Σ